

## いかの おすし を覚えよう

いつどこで怖い目に遭ってしまうかは誰にも分かりません。危ないことに巻き込まれないために、とっさにどのような行動を取ればよいか見てきましょう。

### こんなときはどうする?



知らない人に何を言われても、付いて行ったり、車に乗ったりしては絶対にいけません。「いやです」「行きません」などとはっきり断りましょう。



### 誰もいない家に1人で帰ったときは

- 誰かが付いていないか周りを見る
- 家に誰もいなくても「ただいま」と大声で言う
- 家に入ったらすぐに鍵をかける



- ほかにも...
- 知らない人が来たら、答えず、ドアも開けない
  - 知らない人から電話で名前や住所を聞かれてても、答えない

## 親子で確認

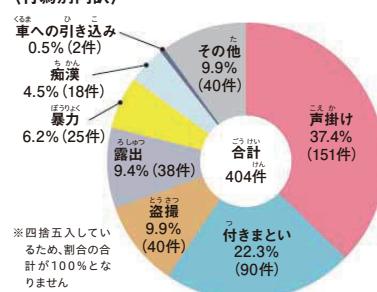
# 子どもの防犯のスマ

夏休みに入り、子どもの自由な時間が増えるこの季節。子どもが犯罪に巻き込まれないために、家族であらためて考えてほしいことを紹介します。[\[詳細\]](#) 区政課 211-2252

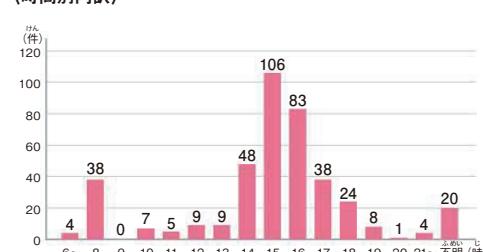
## 子どもへの怪しい声掛けなどが報告されています

昨年度、市内の小・中学校に報告された不審者の情報は404件。声掛けや付きまといが半分以上で、登下校の時間帯に集中して発生しています。また、その約9割が路上や公園で起こっています。

### 行為別内訳



### 時間別内訳



(出典:札幌市「令和2年度中における子どもに係る事案調査結果(報告)」)

### こんな事例が...

- 一緒に犬を探してほしい「靴ひもを結んでほしい」と声を掛けられる
- 車や自転車で付きまとわれる
- 部活動中に学校の敷地の外から盗撮される
- たたかれたり蹴られたりする
- すれ違いざまに体を触られる
- 「お菓子をあげる」と声を掛けられ、車に乗せられそうになる

### どうやって気を付けたらいいの?

次のページから確認しよう!

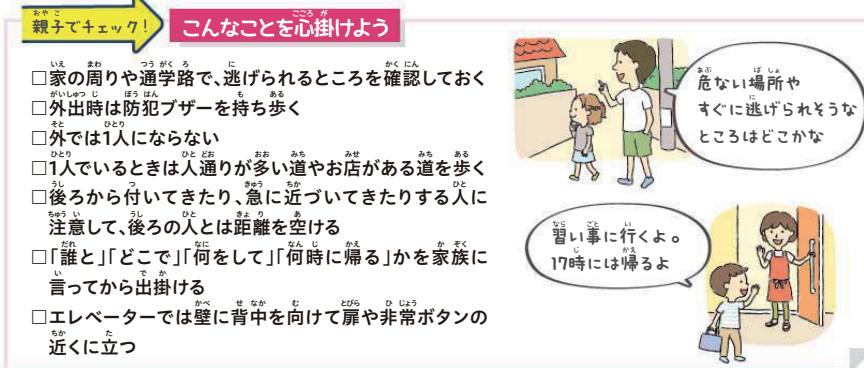
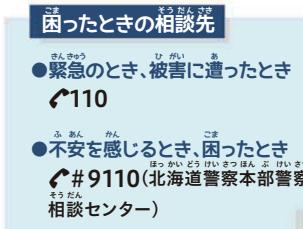


防犯を担当する  
区政課 笹森主査

困っているふりをして近づいてくる人もいるので、子どもだけで対応せず、周りの大人に伝えて解決してもらいましょう。また、屋根付きの駐輪場や公園のトイレなど、誰もが「入りやすく」、周りから「見えにくい」場所は注意が必要です。人が散歩や庭の手入れなどをしながら子どもを見守る「ながら防犯」を意識することも、子どもの安全を守ることにつながりますよ。



「怖いな」「いやだな」と思ったことがあったら、その日のうちに、家族や学校の先生などに話しましょう。



### 犯罪に巻き込まれないために

誰もが身近な場所で突然危ない目に遭ってしまう可能性があります。身を守るために行動や逃げられる場所を調べておき、いざというときに行動できるようにしましょう。



- こんな時間だった
- こんな場所だった
- こんな車だった

### こんなときはどうする？

しつこく付きまとわれる

からだを触られる

無理やり連れていかれそうになる

### お おごえを出す

危ないと思ったら、大きな声で周りの人に助けを求めましょう。また、すぐに近くの安全な場所へ逃げましょう。



### 防犯ブザーを持ち歩く

怖いときは、とっさに声を出せないことも。防犯ブザーや笛があれば、鳴らして助けを求められます。

いざというときに使えるように、音が鳴るか定期的に確認しましょう



### 子ども110番の家を確認しておく

私たちの自治会では、通学路や公園に近い家を中心にお登録をお願いしています。地域にとっても子どもはです。地域全体の防犯の意識を高くすると、犯罪の発生が少なくなると感じます。



私たちの自治会では、通学路や公園に近い家を中心にお登録をお願いしています。地域にとっても子どもはです。地域全体の防犯の意識を高くすると、犯罪の発生が少なくなると感じます。とっさに身を守るためにも、まずは子ども110番の家がどこにあるか、親子で確認してほしいですね。



広告

広告